

PTA だより

第127号
令和元年7月12日

編集発行
岐阜県立各務原高等学校
PTA



入学式

令和元年度、PTA会長を仰せ付かりました園部泰敏です。平素より本校PTA活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。一年間、一生懸命務めさせていただきまです。で、よろしく願いいたします。

私の子供が入学してから、もう2年数か月が過ぎました。本当にあつという間でした。私たち大人は見た目も、考え方も、そんなに大きく変わってないと思いますが、子供達は、この2年で体も心も本当に変わったとおもいます。

そして、世の中も、平成から令和という新年号に変わり益々SNS中心に変わってきています。最近では、4Gから5Gの時代へと変わっています。

私たち昭和の人間は、現金で物を買うのが当たり前でしたが、これから



PTA会長
園部 泰敏

令和元年 我が各務原高校を輝かせましょう！

は、スマートフォンで買い物をしてポイントを貯めてそれでまた買い物をする時代になってきています。

子供達は、遊びも、勉強も、会話もスマートフォンといった具合で、テレビさえも見なくなってきました。こんな時代ですが、せめて各務原高校の中では、友人と会話し、勉強し、一緒にスポーツができる環境を、学校の先生方と共に作っていきますので、保護者の皆様も学校に足を運んでいただいで一緒に各務原高校を盛り上げて頂けたら幸いです。

また、今年はPTAの東海大会（岐阜、愛知、静岡、三重）と岐阜県PTA大会で各務原高校が選ばれました。選ばれたといっても数十年前に一度当たる事が偶然にも2回今年にという事です、頑張ってお知らせしました。

冒頭にも申しましたが、各務原高校の生徒のため全力で取り組みますので、各務原高校のPTA活動に何卒、ご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

部活動紹介 吹奏楽部

こんにちは。吹奏楽部の多和田です。私たちは現在1年生13名、2年生14名、3年生12名の計39名で活動しています。部員はとても個性的で毎日笑いが絶えないのが特徴的で、学年関係なく毎日楽しく活動しています。



今年の吹奏楽部のスローガンは「歯車」です。このスローガンには部員1人1人が歯車となり、全員で部活動を作り上げていこうという願いが込められています。生活面では、挨拶や返事はもちろんのこと、練習時間を1秒でも多く確保するために、素早く行動することを徹底しています。演奏面では、曲にのめりこむことや自分たちの演奏を聴きにきてくださった方々に楽しんでもらえるようにすること、そして何より演奏している自分たち自身が音楽を楽しむことを大切にしています。また、吹奏楽を通して人として成長すること、そして最高の仲間をつくることも大切にしていることの一つです。

昨年度の冬に実施されたアンサンブルコンテストで岐阜県代表に選ばれ、全日本アンサンブルコンテスト東海大会、中部日本重奏コンテスト本大会に出場することができました。これは日頃から支えてくださっている顧問の先生、家族そして、部員の頑張りがあってこそ結果だと思います。

今年の吹奏楽部の目標は、夏のコンクールで東海大会に出場し、金賞をとることです。昨年度の全日本吹奏楽コンクールでは地区大会銀賞、中部日本吹奏楽コンクール県大会ではダメ金（代表をとれない金賞）という結果で終わってしまいました。今年こそは東海大会で金賞をとって皆さんのもとにいい報告ができるようにしていきたいです。

これからも吹奏楽部の活動にご理解とご協力のほどお願いします。



これからの時代



校長 居波 裕



令和の時代になりました。時は何変りませんが、日本で生活をする私たちは、心新たに、新しい時代を感じながら過ごしています。令和には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているとことです。平成の時代を思い返すと、多くの災害があり、国内でも世界でも様々な観点で、浮き沈みの大きい時代ではなかったかと思えます。これからの令和の時代に、込められた意味の通り、人々が思いやりの気持ちを持ち、お互いを尊重し平和な時代が築かれていくことを心より願っています。

私はこの4月に着任しました校長の居波です。よろしくお願いいたします。4月に280名の新入生を迎え、全校生徒861名でスタートしました。国内では、東京オリンピック・パラリンピックや大阪万国博覧会の開催など、とても大きなイベントを控えています。本校でも今年度限りで理数科・英語科がなくなり、新たに「ふるさと教育」に取り組むことになりました。加えて、今年度中に岐阜県の県立学校すべての教室の黒板がホワイトボードに替わることとなり、それによってフロエクターやコンピュータが教室に配置され、ICT（情報通信技術）教

育が「できる」ようになります。大学受験においても、来年度は、センター試験にかわり、共通テストが実施されるなど入試制度も大きく変わります。英語の受験では民間の試験の活用が始まり、また、2022年度より新しい学習指導要領による教育も始まります。

ここ数年、働き方改革や部活動の活動時間の見直しなど様々な議論がされていますが、このような変化の中でも対応できるように、本校でも議論を重ねていきたいと考えています。

最後に、再来年、令和3年度には各務原高校は創立50周年を迎えます。この節目の年を迎えるにあたって、本校も新たな飛躍を目指していきます。今後、PTAの皆様のご理解とご支援をいただき、職員同、力をあわせ頑張っていきたいと思っております。

学力向上のため「自ら学ぶ力」を身につける



教務主任 立川 茂

私たち各務原高校の教育目標の一つとして「知育・徳育・体育の調和のとれた生徒を育成する」があり、教育指導の重点に「学力の向上」が掲げられています。その「学力」とは「学習に対する意欲を喚起し、自ら学ぶ態度を育成する」という「自ら学ぶ力」の上に成り立っています。

重要なのは「自ら学ぶ」姿勢です。いろいろな課題を自ら見つけ、それに対



今年の新生、入学前の自習室の様子と3年生の授業風景

して自ら進んで取り組み、自ら解決しようとする姿勢です。高校3年間で、今しかできないこと、今やるべきことを見つけて一生懸命取り組むことが、「自ら学ぶ力」を身につける秘訣だと思っています。その取り組みの中で養われ、身につけたその力は、将来いろいろな場面面で生かされ、自分にとつての大きな自信となり、自己実現の基礎となります。そして、その力の上に成り立つ「学力」は、勉強する過程において得られるのは当然ですが、生活の中での知恵も含みます。高校生に求められるものはいろいろありますが、各務原高校生には「勉強して、力がついた。」と胸を張って言える3年間を過ごしてほしいと思います。

近年の社会では、自ら課題を探究し、課題解決にいたる能力が必要といわれています。その基礎となる「自ら学ぶ力」を各務原高校での3年間で育成し、身につけることにより、より社会で活躍できる人材となり、羽ばたいてほしいと願っています。

本校の生徒指導の方針と重点



生徒指導主事 松久 潤

保護者の皆様、日頃は本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。本校では、生徒の皆さんに対して、身につけて欲しい事柄として、次の三つをあげています。生徒の皆さんには、これらの事柄を日常生活から意識して生活を送って欲しいと思います。

- 集団生活における基本的生活習慣を身につける。
- 自他の生命を尊重し、危険を未然に防ぐ能力を身につける。
- 規範意識を育て、ルールを守り、マナーを身につける。

基本的な生活習慣を身につけるためには、時間を守り、時間を意識した行動をとることが必要です。余裕をもって登校し、朝の時間を有効に使い、学習や部活動、また自分が熱中できるものに全力で取り組んで欲しいと思っています。

2019年度 定期人事異動

転出者

教頭	教諭	地歴公民	数学	英語	常勤講師	事務係
山本 和志	安田 英謙	浅見 和人	高橋 秀樹	道澤 宏一	田口 峻	佐橋 朋子
岐阜工業高校	海津明誠高校	美濃教育事務所	岐南工業高校	岐阜県教育委員会事務局	古城高校	長良高校

退職者

校長	教諭	非常勤講師	事務
高谷 信吾	森下 範子	渡邊 克尋	小森 誠治
			稲山 潤子

転入者

校長	教頭	教諭	地歴公民	数学	英語	常勤講師
居波 裕	林 昭男	川地 晃正	今津 剛	平石 恵子	久松 一郎	井坂 駿介
八百津高校	長良特別支援学校	川辺中学校	羽島北高校	岐山高校	岐阜農林高校	八百津高校

非常勤講師	事務係	主任学務員	校務補助員	校務補助員
堀 美和子	緋田 尚樹	杉山 楓	長縄 菜佳	
山県高校	益田清風高			



二〇一九年度 入試報告・方針と重点



進路指導主事
関谷 十糸子

二〇一九年度入試について

二〇一九年度のセンター試験は、一月九、一〇日の二日間にわたり、全国六九三の試験会場で実施されました。志願者数は五七六、八三〇人、受験者数は五四六、一九八人といずれも前年から若干減少しました。「一八歳人口の減少に加え、二〇一八年度入試で大学入学定員管理の厳格化を背景に都市部の私立大学が総じて難化した影響から、推薦AO入試を選んだ受験生が多かったことが要因と考えられます。」

系統別では国公立大学、私立大学ともに文系では「文・人文」、「社会・国際」学系の志願者が増加し、理系では「工・医・歯・薬・保健」の志願者の減少が目立ちました。

本校では、例年と同様に九割以上の生徒が地元の学校に進学し、七割以上の生徒が推薦入試やAO入試を利用して進学しました。推薦入試やAO入試で進学を決めた生徒の多くは、年内に進学先が決まります。どの学校でも四月の入学以降の学生生活の中で、一般入試で入学した生徒との学力差が不安視されています。そういった差を感じ、不適応感を感じるのではないよう、進路先決定後も学習し続ける姿勢を培っ

ていきたいと考えております。

また、六十名程の生徒が三月まで粘り強く受験勉強に取り組み、自己実現に向けて邁進しました。目標を高く掲げ、最後まで粘り強く取り組む生徒が年々増加しております。クラスを越え、同士として戦う姿に教職員一丸となり個別指導などで手厚く支え続けました。早期中退や離職を避けるためにも、よく調べ相談し、易きに流されるのではなく、より自分に負荷をかけて努力し続け、第希望の学校を最後まで目指す指導を続けたいと考えております。

また、全学年で、平日補習、土曜補習を展開し、進路学習を行うことにより進路意識の高揚、学力の向上を目指す指導を充実させて参ります。

進路指導部の方針と重点

進路指導部は、「主体的に進路を選択できる能力や態度を育て、進路実現のための積極的取り組みを支援する。」を基本方針とし、以下の三点を重点としております。

- ①生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し、高校卒業後も見通した、三年間の全体計画、年間指導計画を改善し、計画的、組織的な進路指導体制を確立する。
- ②一人が自己の能力・適性や多様な可能性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて主体的に進路選択ができるよう、情報提供や説明及びそれらに基づいた学習等のガイダンス機能を充実する。
- ③生徒が自ら希望する進路を実現できるよう、「生きる力」の礎となる確かな学力を身に付けるための指導を充実する。

まず、自分が夢中になれるものが見つかれば、自分の前にある壁や課題に向かってくると思えます。今春、現役を引退したイチロー選手は「日常の努力を重ねることでしたか後悔を生まないということではない」と語っています。

さて、今年度より始業のチャイムの鳴り始めを遅刻としたこともあり、ほとんどの生徒が朝学習や朝読書の時間に間に合うように早めに登校できています。御家庭での御協力をいただき、ありがとうございます。しかし六月に入り、気候の変化のためか体調を崩して遅刻をする生徒がややみられます。御家庭での生活の様子で気になることがあれば、担任や教育相談部などへ気軽に相談ください。

生命の尊重と危険防止に関しては、昨年度から校内への送迎車乗り入れ禁止に御協力いただいたおかげで正門付近の安全性が良くなりました。交通安全への取り組みとしては、四月二十五日に全校生徒を対象に、愛知県立一宮東特別支援学校の則竹崇智先生をお迎えし、交通安全講話を行いました。生徒達は生懸命に話を聞き、交通事故が奪うものの大きさや、小さな油断が取り返しのつかない事態を引き起こすことを身にしみて感じたようです。命の大切さや交通安全について考える機会になりました。七月には各務原警察署生活安全課より大洞知也様を招き、ワンポイント交通講話を実施する予定です。今年度も定期的に登校指導と定期考査中に行う下校指導を計画しています。しかし四月以降、数件の交通事故が起っています。交通事故

故は、どちらが悪くても、大きな事故になれば取り返しがつきません。周囲の安全を十分に確認して、登下校をしてください。また、不審者情報も多く寄せられています。身の安全、警察への通報に心掛け、被害に遭わないように気をつけてください。また、一年生に対しては、携帯電話等に関するトラブルを未然に防ぐために「KDDIスマホ携帯安全教室」を実施しました。

高校時代は、社会で活躍するための感性や未来をつくる力を携える大切な時期です。授業やクラス活動、部活動などを通して、自分の打ち込めるものを見つけ、そして全力で取り組み、高校生活を通して、「ユキノシタ」のようになくましい人に成長して欲しいと願っています。

厳しい雪の下でも
激しい雨の下でも
荒ぶる嵐の日でも
必ずハレの日が来ると信じて耐え
やがて華麗に踊るように咲く風流
その花の名は「ユキノシタ」
花言葉は「深い愛情」

P T A 校外研修

P T A副会長 北村 友二

本年度のP T A校外研修は、初夏の汗ばむ快晴のもと、名古屋市内にある「南山大学」と「名城大学」で実施され、校長先生をはじめとするP T A会員総勢53名の参加を得ることができました。

2019年度卒業生 進路別人数

		普通科		理数科		英語科		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女
進 学	国公立	3	0	0	0	1	3	1	
	大 立	88	51	11	8	4	14	103	73
	短 立	0	4	0	0	0	0	0	4
	大 立	4	20	1	0	0	1	5	21
	看護系	2	3	0	2	0	0	2	5
	その他	16	23	4	4	4	14	24	41
	各種学校	0	0	0	0	0	0	0	0
就 職	公務員	10	1	0	0	0	0	10	1
	その他	3	0	2	0	0	1	5	1
	留 学	1	0	0	1	0	0	1	1
	その他	6	1	4	1	1	0	11	2
合 計		133	103	22	16	9	31	164	150

国立大学の合格者数

鳥取大学① 富山県立大学① 岐阜県立看護大学①
岡山県立大学① 尾道市立大学① 山口県立大学①

主な私立大学の合格者数

酪農学園大学① 千葉工科大学① 目白大学①
拓殖大学② 東海大学① 東京造形大学①
明治大学① 神奈川大学① 神奈川工科大学①
金沢工科大学② 朝日大学⑧ 岐阜協立大学②
岐阜女子大学② 岐阜聖徳学園大学⑥ 東海学院大学②
中央学院大学①⑧ 岐阜医療科学大学⑧
岐阜保健大学⑤ 愛知大学④ 愛知学院大学①⑥
愛知学泉大学① 愛知工業大学④ 愛知淑徳大学⑤
愛知みずほ大学② 金城学院大学① 椋山女学院大学②
大同大学③ 中央大学①⑥ 至善館大学①
中部大学①② 東海学園大学③ 同朋大学①
名古屋外国語大学①⑩ 名古屋学院大学⑥
名古屋経済大学④ 名古屋造形大学①
名古屋商科大学② 名古屋造形大学② 南山大学④
日本福祉大学② 名城大学①④ 豊橋創造大学①
愛知文教大学① 愛知東邦大学① 名古屋学芸大学④
修文大学① びわこ成蹊大学① 京都産業大学①
佛教大学② 立命館大学① 桃山学院大学①
奈良大学② 岡山理科大学①

主な短大・専門学校合格者数

岐阜市立女子短期大学④ 拓殖大学北海道短期大学①
東京交通短期大学① 大垣女子短期大学②
岐阜聖徳学園大学短期大学部①
中部学院大学短期大学部② 東海学院大学短期大学部③
岐阜保健短期大学② 平成医療短期大学②

最初に訪れた「南山大学」では、静かな環境の整ったキャンパスの中で約1万人の学生さんが勉学に勤しんでいました。この大学は東海地区で唯一のカトリック系総合大学ということ、国際色豊かな雰囲気が多く見られました。学部においても主に外国語学部や国際教養学部など、英語や他国語・他国文化を重視した内容になっており、これからのグローバルな社会に適応した人材を育成している。また多くの留学生も在籍しており、その強みを生かした「日本語禁止」のウォールドラザや逆に留学生を対象とした「外国語禁止」のジャパンエリアなどを設け、学生同士の交流を深めて、人間力やコミュニケーション能力を高めるスペースを提供しています。留学においても学生をしっかりとサポートした充実した内容になっており、親御さんも安心して送り出すことのできるプログラムになっています。また最後に各務原高校の卒業生の方に壇上が上がってもらい、この大学の良さや受験勉強の苦労話などを話してもらいました。その後キャンパス内を他の学生に案内してもらい、学内の食堂で安くてボリュームのある食事を頂きました。

次に訪れたのが「名城大

学」の天白キャンパスです。この大学は「南山大学」とは異なり、学内に入った瞬間、活気に満ち溢れ、自由な雰囲気を感じ取ることが出来ました。大学の概要説明でもインターンシップや各種講座による資格取得の支援、キャリアセンターによる入学時から就職支援など、大学は学生側に立って全力でサポートしています。また、新しいキャンパスを次々に整備しており、学生が勉強や研究に取り組むことのできる環境作りを常に行っています。全国の大学就職率NO.1も頷けます。また我々子を持つ親にとっては、他大学と比較して学費が抑えられているのも魅力のひとつだと思います。

今回、我々は2大学を見学させていただきましたが、やはりそれぞれの大学に特徴や特色があります。生徒の皆様も是非とも時間を作ってオープンキャンパスに積極的に参加し、肌で大学の雰囲気をを感じ取って欲しいと思います。そして自分の将来像を見出してください。

最後になりましたが、今回の研修に御参加いただいた保護者の方には深く感謝を申し上げます。また次年度以降も多くの御参加をお待ちしております。



た。また、新



令和元年度 各務原高等学校部活動の成績

(県大会ベスト8以上)



■体育系

部 活 動	成 績 内 容
サ ッ カ ー 部	第67回高等学校総合体育大会 サッカー競技 第3位
ラ グ ビ ー 部	第67回高等学校総合体育大会 ラグビーフットボール競技 第4位
ハンドボール部	岐阜県ハンドボール選手権大会 高校女子の部 第3位
テニス部(男子)	全日本ジュニア岐阜県予選 U18 ダブルス ベスト8 柴田 裕平 2年1組 飯沼 優斗 2年7組
水 泳 部	岐阜県春季室内選手権 男子100m個人メドレー 3位 小池 隆太 3年8組 男子200mメドレーリレー 6位 藤井侑一郎 2年4組 米倉 旺央 2年6組 小池 隆太 3年8組 石田 爽悟 2年5組  岐阜県春季選手権 男子200mフリーリレー 7位 藤井侑一郎 2年4組 奥村 拓真 2年7組 小池 隆太 3年8組 石田 爽悟 2年5組
弓 道 部	インターハイ予選 4位 入賞 桧山 晃輔 3年7組

■文化系

部 活 動	成 績 内 容
吹 奏 楽 部	木管8重奏 平成30年度 岐阜県アンサンブルコンテスト 金賞 県代表 平成30年度 第45回 東海アンサンブルコンテスト 銅賞 平成30年度 中部日本個人重奏コンテスト本大会 銀賞 
放 送 部	第54回 岐阜県高等学校 放送コンテスト 第6位

■部活動外

	成 績 内 容
ゴ ル フ	中部女子アマチュアゴルフ選手権競技 優勝 2年1組 長谷川せら



学校独自の
横断幕ができました

セリトス市高校生交流団来校

今年も、各務原市と姉妹教育交流を行っている
アメリカ、カリフォルニア州セリトス市から8名の高校生が来日し、
6月17日から3日間、本校で学校体験をしました。
授業などを一緒に受け、双方にとって新しい発見や学びがありました。

